

7-3 長基線地電位観測について

On the Observation of Geoelectric Field with a Long Electrode Span

気象研究所

地磁気観測所

Meteorological Research Institute, Kakioka Magnetic Observatory

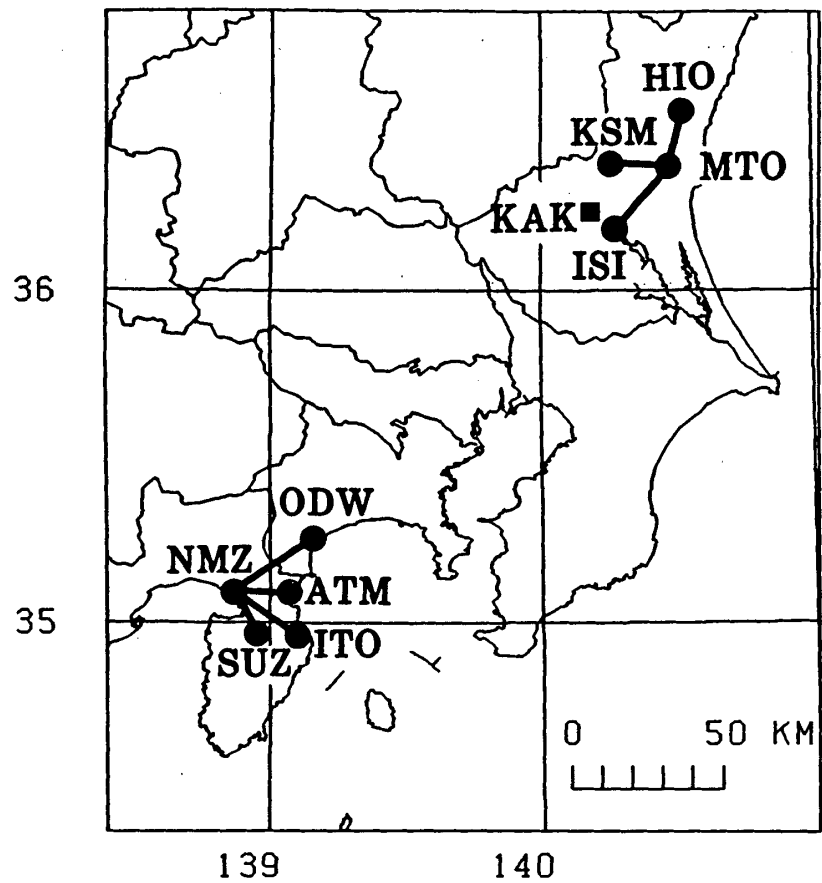
N T Tの協力により、基線長15～45kmの地電位観測を行っている。水戸（MTO）、沼津（NMZ）を基準にして、それぞれ第1図の実線で接続した電話局間の電位差を測定している。従って、それぞれの観測網において、地点相互間の電位変化を計算できる。

第2図は沼津系統と水戸系統の地電位、柿岡地磁気観測所の地磁気の日平均値、三島と水戸の日降水量を示す。また、主な出来事も記入した。沼津系統がばらついているのは大部分が人工的ノイズであると思われる。前回までに報告した（1）、（2）参照）以外には、特別な変化はない。

なお、石岡（ISI）は7月24日より、笠間（KSM）は8月23日より観測を中止した。

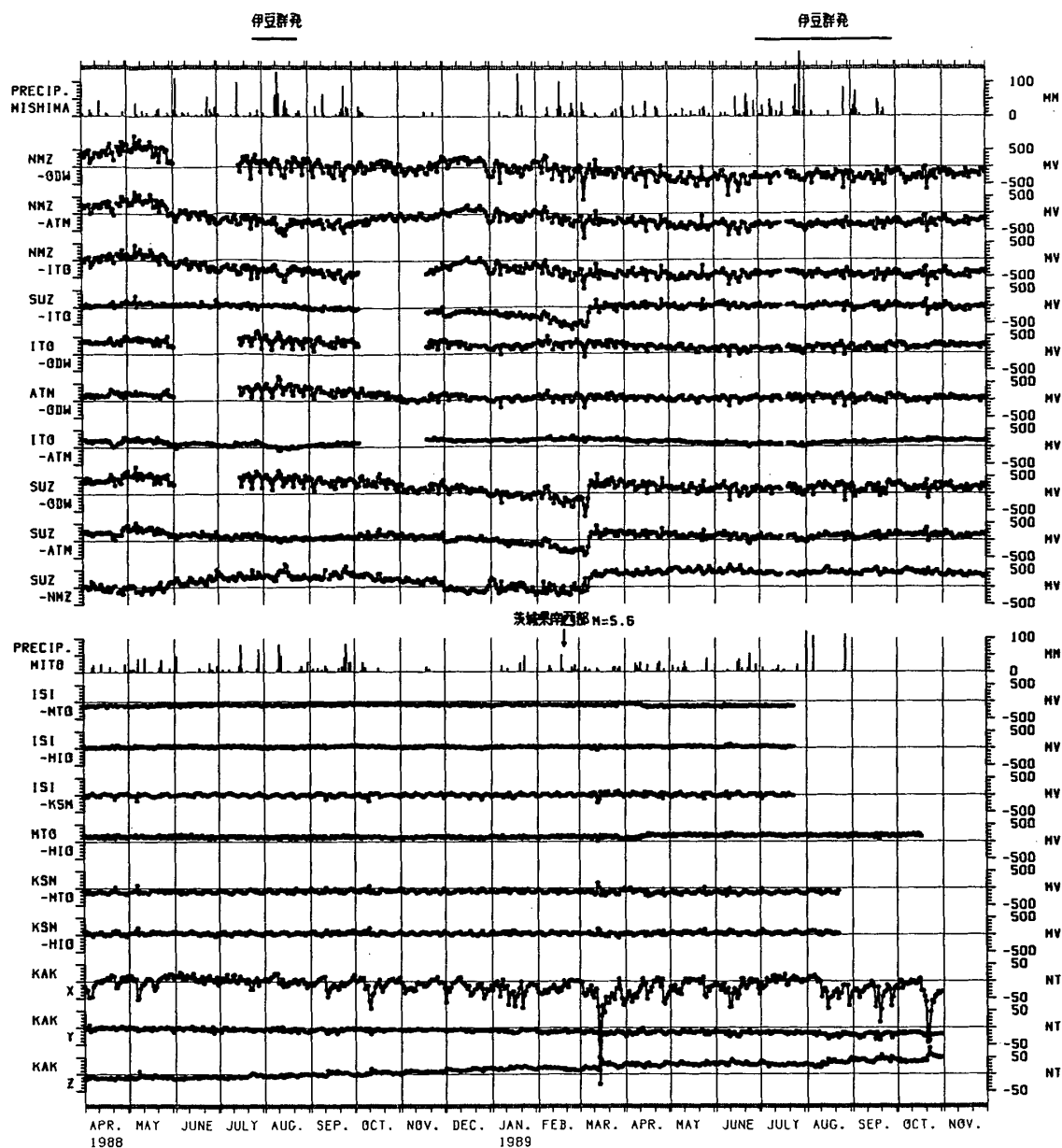
参 考 文 献

- 1) 気象研究所：長基線地電位について，連絡会報，36（1986），382－384.
- 2) 気象研究所：長基線地電位について，連絡会報，37（1987），372－377.



第1図 NTT地電位観測網と柿岡地磁気観測所 (KAK)

Fig. 1 Observation networks for geoelectric field and Kakioka magnetic observatory.



第2図 地電位・地磁気の日平均値の変動と日降水量

NMZ-ODW ~ SUZ-NMZ: 沼津系統

ISI-MTO ~ KSM-HIO: 水戸系統

KAK X, Y, Z : 柿岡地磁気

PRECIP. MISHIMA : 三島日降水量

PRECIP. MITO : 水戸日降水量

Fig. 2 Geoelectric and geomagnetic variations in daily means and daily precipitations.
 NMZ-ODW - SUZ-NMZ: Geoelectric variations at Numazu-group.
 ISI-MTO - KSM-HIO: Geoelectric variations at Mito-group.
 KAK X, Y, Z: Northward, eastward and downward components of geomagnetic variations at Kakioka.
 PRECIP. MISHIMA: Daily precipitation at Mishima.
 PRECIP. MITO: Daily precipitation at Mito.